



あったか荻野



【学校教育目標】

「自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもを育成する」

横須賀市立荻野小学校

学校だより 第5号

令和3年 7月 20日

校長：山田伊久男



●あしたからなつやすみ (こどもむけコーナー)

なつやすみまえに、はなしたいことが2つあります。このまえのちょうかいのはなしと、かんけいがあります。

ひとつめは、もくひょうについてです。7がつのもくひょうは「すすんで挑戦(ちょうせん)しよう」でした。これは、なつやすみにぴったりだとおもいませんか。なつやすみは、いつもよりじかんがあります。コロナで、がまんしなくてはならないこともあります。がんばれるチャンスは、おおいとおもいます。「挑戦(ちょうせん)」という、はじめてのことをやるかんじがしますね。もちろん、やったことのないことをやってもいいですが、これまでにやってみて、おもしろかったことでもいいし、はなたいに、うまくできなくてくやしかったことでもいいです。なにかに、いっしょうけんめい、むちゅうになってとりくむことが、挑戦することだとおもいます。たとえば、なわとびとか、リコーダーとか、こうさくとか。なんどもくりかえしてやってみたり、ちょっとくふうしてやってみたりするだけでも、いつもとちがうかんじがするとおもいます。おりょうりとか、スポーツとか、どくしょとかもいいですよ。



そして、できれば、ノートや、しゃしんや、ビデオなど、きろくにのこしてください。なつやすみがおわったときに、じぶんのやったことを、ふりかえることができるものがあると、たのしくなるとおもいます。みなさん、なにかに挑戦(ちょうせん)したか、おしえてください。



ふたつめは、「おきゃくさんにはりきってあいさつをしよう」というのはなしです。なつやすみは、いえにいることがおおいです。いえにはどんなひとがくるでしょうね。はりきってあいさつをしてください。おきゃくさんはすくなくかもしれないから、いえのきんじょのひとにも、はりきってあいさつをしましょうか。

ひとつ、いいことをおしえます。こどもがあいさつをがんばっていると、お



となにすごくほめられますよ。なぜかという、
おとなは、あいさつの「たいせつさ」と「たいへんさ」を、よく知っているからです。



おとなにとって、あいさつはすごくたいせつなものです。だから、あいさつができることものを、すごくほめるのです。5, 6ねんせいは、ちょっとはすかしいかもしれません。そのきもちも、よくわかります。でも、みなさんのせんぱいのちゅうがくせいたちは、あさ、わたしにさわやかにあいさつをしてくれています。

おきゃくさんやきんじょのひとに、はりきってあいさつをしてみてください。

●保護者のみなさまへ

4か月間、いろいろなご協力をありがとうございました。残念ながら、コロナ禍は続いています。夏休みは、お子さんと過ごす時間が多くなります。ご家族みなさんで、次のことに意識して、感染拡大防止に取り組んでくださいますよう、お願いいたします。

- ①健康を維持しましょう。(睡眠、栄養、運動)…睡眠不足は熱中症も心配です。
- ②マスク・手洗い・換気・健康観察(検温など)を習慣化しましょう。
- ③人が集まる場所などへの外出や、「密」を避けましょう
- ④家族以外のグループでの会食や、食事中的会話は控えましょう。
- なお、お子さんやご家族のどなたかが、濃厚接触者と判断されたり、PCR検査を受けたりした場合は、休み中ですが、学校にご連絡をお願いします。

その他では、熱中症、交通事故、水の事故、犯罪なども心配です。コロナ禍で我慢することが多くて、大人でもつい羽目を外したくなる時があります。ましてや子どもたちは、開放感など、いつもと違う気分になることもあるでしょう。ただ、そういう気分ときは、事故や事件と隣り合わせの状態になっていると言えませんか？お子さんたちの、そういった状態や気持ちをくみながらも、事故や事件などにあわないよう、声掛け等をお願いします。

(地域の行事なども行えず、いろいろな大人と接する機会もなくなりがちですので、大人も、ご近所の方とあいさつを交し合えると良いと思います。)

また、昨今、夏休みなどの長期休暇の終わりには、学校に行きたくない、学校に行かれないという子どもが多くなる傾向があります。お子さんのご様子で

気になることがありましたら、まずは時間をかけてその思いを聞いてあげてください。そして、遠慮なくご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

